

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2010年2月15日~2月19日)

発表日: 2010年2月12日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(2月15日~2月19日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
2月15日 (月)	8:50 10-12月期 GDP1 次速報				
	実質 GDP 成長率 (前期比)	+1.0%	+0.9%	+0.6%~+1.5%	+0.3%
	(同年率)	+3.9%	+3.5%	+2.3%~+6.0%	+1.3%
	名目 GDP 成長率 (前期比)	+0.8%	+1.0%	▲0.1%~+1.8%	▲0.9%
	GDP デフレーター (前年比)	▲2.5%	▲2.3%	▲3.1%~▲1.3%	▲0.5%
	8:50 1月製造業部門別投入・産出物価指数				
	交易条件(前月差)	—	—	—	▲0.6%
	(前年差)	—	—	—	▲0.1%
	13:30 12月鉱工業生産指数・確報				
	鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	+2.2%
	(前年比)	—	—	—	+5.3%
稼働率指数 (前月比)	—	—	—	+3.2%	
生産能力指数 (前年比)	—	—	—	▲0.1%	
13:30 12月商業販売統計・確報					
小売業販売額(前年比)	—	—	—	▲0.3%	
2月16日 (火)					
2月17日 (水)	8:30 2月ロイター短観				
	製造業DI	—	—	—	▲19
	非製造業DI	—	—	—	▲34
	8:50 12月第3次産業活動指数 (前月比)	+0.1%	▲0.2%	▲1.1%~+0.4%	▲0.2%
	(前年比)	▲1.9%	—	—	▲3.2%
10:30 12月毎月勤労統計・確報					
名目賃金(前年比)	—	—	—	▲6.1%	
14:00 12月建設総合統計					
金融政策決定会合(~18日)					
2月18日 (木)	14:00 12月景気動向指数改定値				
	CI一致指数(前月差)	—	—	—	+1.6%
	CI先行指数(前月差)	—	—	—	+3.0%
	14:30 1月全国百貨店売上高 (店舗数調整後前年比)	—	—	—	▲5.0%
15:30 日銀総裁定例記者会見					
2月19日 (金)	13:30 12月全産業活動指数 (前月比)	+0.4%	+0.1%	▲0.1%~+0.8%	+0.1%
	(前年比)	▲1.1%	—	—	▲3.5%
	14:00 2月金融経済月報				

(注) 市場予測は Bloomberg、日経 quick 調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

10-12月期GDP1次速報・実質GDP成長率 当社予想: 前期比年率 +3.9% 中央値: 同 +3.5%

前期比年率+3.9%の高成長を予想する。09年1-3月期をボトムとして景気が順調に改善していることが確認されるだろう。①海外景気の持ち直しに伴って輸出の高い伸びが続いたこと、②政策効果の持続から個人消費が底堅い動きを示したこと、③設備投資が下げ止まりつつあること、④在庫のプラス寄与、などが高成長の背景にある。なお、今回の公表時には輸出入について季節調整方法の変更が行われるため、過去の実績値(季節調整値)についても比較的大きな改定になる可能性があることに注意が必要である。

(主任エコノミスト: 新家 義貴)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

12月第3次産業活動指数（前月比） 当社予想：前月比 +0.1% 中央値：同 ▲0.2%

12月の第3次産業活動指数は前月比+0.1%と予想する。単月では2ヶ月ぶりに小幅プラスが見込まれるが、内需低迷の影響などに伴い基調としては緩やかな持ち直しに留まろう。12月の商業販売統計(速報)では、商品販売の不振や内需低迷の影響などにより卸売業、小売業ともに販売額が減少したことから、卸売業、小売業のマイナス寄与が予想される。一方で、住宅市場の下げ止まりや株価、企業収益の持ち直しを受けて、不動産業や金融・保険業、学術研究・専門、技術サービス業などは前月比プラスとなろう。

先行きについて、家計部門は、政策効果による押し上げ効果が弱まってくることや厳しい雇用、所得環境が続くことで、弱めの動きが継続しよう。また、企業部門も、輸出や生産の回復による下支えはあるものの、内需の弱さから改善ペースは鈍化していくと思われる。そのため、今後、第3次産業活動指数の回復ペースは緩慢なものとなる可能性が高い。(エコノミスト：小杉 晃子)

12月全産業活動指数（前月比） 当社予想：前月比 +0.4% 中央値：同 +0.1%

12月の全産業活動指数は前月比+0.4%と予想する。全産業活動指数の改善傾向の継続が確認できる結果となろう。第3次産業活動指数はプラス寄与が予想されることに加え、12月の鉱工業生産指数(速報)も、在庫調整の進展や輸出の回復などを背景に前月比+2.2%と、10ヶ月連続で改善している。

先行きについても、鉱工業生産指数が生産予測指数において1、2月はともに上昇が予想されていることや輸出、生産の回復を主因とした第3次産業活動指数の緩やかな持ち直しが見込まれることを考慮すると、当面、改善傾向が続くだろう。(エコノミスト：小杉 晃子)

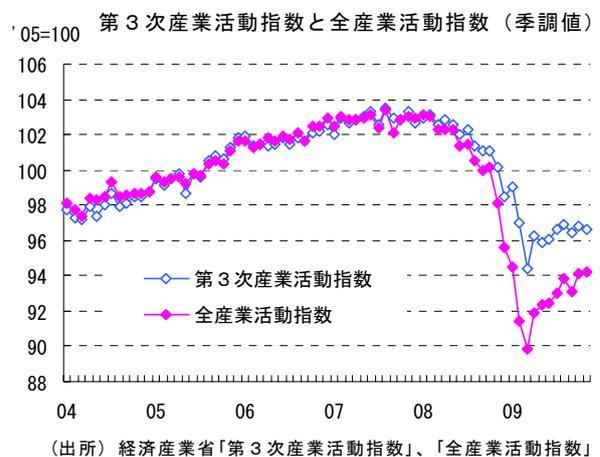
以上

図表1
2009年10-12月期GDP予測

(%)	
実質GDP	1.0
(前期比年率)	3.9
内需寄与度	0.5
(うち民需)	0.5
(うち公需)	0.0
外需寄与度	0.4
民間最終消費支出	0.5
民間住宅	▲ 3.0
民間企業設備	▲ 0.3
民間在庫品増加(寄与度)	0.3
政府最終消費支出	0.2
公的固定資本形成	▲ 1.2
財貨・サービスの輸出	5.4
財貨・サービスの輸入	2.4
名目GDP	0.8
(前期比年率)	3.1
GDPデフレーター(前年比)	▲ 2.5
国内需要デフレーター(前年比)	▲ 2.5

※断りの無い場合、前期比(%)

図表2



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

3月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/1 2月軽自動車販売(14:00) 2月自動車販売(14:15) (米)1月個人所得・消費 (米)2月ISM製造業景気指数 (米)1月建設支出 (欧)2月製造業PMI(確)	2 1月労働力調査(8:30) 1月一般職業紹介状況(8:30) 1月家計調査(8:30) 2月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)ページブック (米)2月自動車販売台数 (欧)1月生産者物価 (豪州)金融政策委員会	3 1月毎月勤労統計(10:30) (欧)1月小売売上高 (豪州)10-12月期GDP	4 10-12月期法人企業統計(8:50) 野田日銀審議委員挨拶 (米)2月ISM非製造業指数 (米)1月製造業受注 (米)1月中古住宅販売保留 (欧)10-12月期GDP(改) (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (インドネシア)金融政策委員会 (マレーシア)金融政策委員会	5 1月家計消費状況調査(14:00) (米)2月雇用統計 (米)1月消費者信用残高
8 1月国際収支(8:50) 2月マネーストック(8:50) 2月貸出・資金吸収(8:50) 2月景気ウォッチャー調査 (独)1月鉱工業生産	9 1月景気動向指数(14:00) 30年利付国債	10 1月機械受注統計(8:50) 2月企業物価(8:50) 1月特定サービス産業動態統計調査(13:30) (米)1月卸売在庫 (米)2月財政収支 (仏)1月鉱工業生産 (タイ)金融政策委員会	11 10-12月期GDP2次速報(8:50) 5年利付国債 (米)1月貿易収支 (ニュージーランド)金融政策委員会 (韓国)金融政策委員会 (ブラジル)10-12月期GDP	12 2月投入・産出物価指数(8:50) 1月鉱工業指数・確(13:30) (米)2月小売売上高 (米)3月ミシガン大消費者センチメント (米)1月企業在庫 (欧)1月鉱工業生産
15 1月商業販売統計・確(13:30) 2月消費動向調査(14:00) (米)3月NY連銀指数 (米)1月対米証券投資 (米)2月鉱工業生産 (米)2月NAHB住宅市場指数	16 金融政策決定会合(~17日) 20年利付国債 (米)2月輸入物価 (米)2月住宅着工件数 (米)2月建設許可件数 (米)FOMC (欧)2月消費者物価 (仏)2月消費者物価	17 1月第3次産業活動指数(8:50) 1月毎月勤労統計・確(10:30) 1月建設総合統計(14:00) 日銀総裁定例記者会見 (15:30) ※3月月例経済報告 (米)2月生産者物価	18 3月ロイター短観(8:30) 1-3月期法人企業景気予測調査(8:50) 1月景気動向指数改訂(14:00) 3月金融経済月報(14:00) (米)2月消費者物価 (米)3月フィラ連銀指数 (米)2月景気先行指数 (欧)1月貿易収支 (ブラジル)金融政策委員会	19 1月全産業活動指数(13:30) (トルコ)金融政策委員会 (メキシコ)金融政策委員会
22 ※(欧)2月製造業PMI(速)	23 10-12月期資金循環(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(2月17,18日分)(8:50) ※2月チェーンストア販売統計(14:00) ※2月全国百貨店売上高(14:30) 2月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)2月中古住宅販売件数 (米)1月FHFA住宅価格指数	24 ※2月貿易統計(8:50) ※平成22年地価公示(16:50) (米)2月耐久財受注 (米)2月新築住宅販売件数 (独)3月Ifo景況感指数	25 2月企業向けサービス価格指数(8:50) 2年利付国債 (ニュージーランド)10-12月期GDP ※(台湾)金融政策委員会 (南アフリカ)金融政策委員会	26 2月消費者物価・全(8:30) 3月消費者物価・都(8:30) (米)10-12月期GDP(確) (米)3月ミシガン大消費者センチメント(確) (韓国)10-12月期GDP(確)
29 2月商業販売統計(8:50) (米)2月個人所得・消費 (独)3月消費者物価(速)	30 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 2月鉱工業指数(8:50) (米)3月CB消費者信頼感指数 (仏)10-12月期GDP(確) (英)10-12月期GDP(確)	31 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00) (米)3月シカゴPMI (米)2月製造業受注 (欧)3月消費者物価(速) (トルコ)10-12月期GDP	4/1 3月日銀短観(8:50) 3月軽自動車販売(14:00) 3月自動車販売(14:15) (米)3月ISM製造業景気指数 (米)2月建設支出 (米)3月自動車販売台数 (欧)3月製造業PMI(確)	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50) (米)3月雇用統計

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。